

リベラル鈴鹿 青木 啓文 議員

西部地域活性化のための施策

(質問) スマートIC周辺の整備事業について。

(答弁) 新名神高速道路の完成によって、西部地域は交通利便性の高い地域となることが予想されており、土地利用需要の受け皿として地域発展への効果が期待されている。今年度、(仮称)鈴鹿PAスマートIC周辺地域の利活用に関する基礎調査事業を実施し、周辺地域の利活用の有効策

の検討、土地利用に関するニーズの把握や課題の収集を行う。スマートIC周辺は豊かな自然環境と良好な農地を有する重要な地域であり、今後の土地利用については農業との調和を図りながら検討していきたいと考えている。企業誘致や農業の6次産業化、地域交流をコンセプトにした集客交流施設などの誘致により、産業振興や観光文化の交流・発信など西部地域の賑わいづくりの拠点として、産業・経済の活性化や雇用の促進に努めていきたい。

すすか倶楽部 鈴木 純 議員

学力保障への取り組み

(質問) 教育委員会は本年度の学力テストで全国平均を超える学校の目標数を40校中30校としたが、達成したのは3校のみであった。市長には、この3校をはじめ市内の学校を訪問し現場の声を聞いて学力保障へ向けて何をすべきか考えてほしい。また学力向上、生きる力を育む読書好きの子どもたちを育てるために現在1人もいな

い学校司書の配置や図書購入費増など学校図書館の充実を要望する。

(答弁) 学力の実態や学校の状況については必要に応じて報告を受け、食材の贈呈式や地域行事などの学校を訪れる機会に学校の状況を把握するよう努めている。学校図書館が有用であると認識しているが予算には限りがあり、今後も教育課題も含め市民のあらゆるニーズを勘案した上で、市政運営に当たりたい。

その他の質問 ○市政アンケート調査について

緑風会 今井 俊郎 議員

鈴鹿市の人口減少について

(質問) 少子高齢化に向かう生産年齢人口の減少における財政運営はどうか。また、子供を産み育てる少子化対策への、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況はどうか。

(答弁) 現在、生産年齢人口の減少、高齢者人口の増加といった将来リスクを予測しながら新たな中・長期的計画の策定を行っており、その

策定の中で財政計画を含む今後の財政運営について検討していきたい。子ども・子育て支援事業計画の進捗状況については、鈴鹿市子ども・子育て会議の意見を踏まえ子ども・子育て支援事業計画案を作成し、今後は、広く市民の皆様の意見を伺って年度内の策定にむけて進めていく。新制度実施にあたっては消費税増税が延期されることから、少なからず影響が出ることも予想される。

その他の質問 ○シティセールスについて
○市制70周年事業のその後

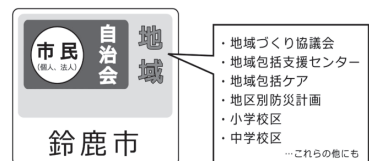
すすか倶楽部 中西 大輔 議員

住民自治の充実について

(質問) 市の過去からの経緯も考え、自治会を住民自治の基礎単位としてはどうか。生活道路の維持や改修に、市から財源を自治会に委譲してはどうか。新たな中長期計画の中に、地域自治組織について達成時期も含め記述すべきでは。

(答弁) 自治会に多くの市民が加入しており自治会は必要、地域づくり協議会の組織構成でも

自治会の役割に期待している。道路維持管理全体について、地域住民に地区の維持管理をして頂くことも視野に入れ、他の先進自治体の取り組みも参考に研究していきたい。新たな計画で住民自治の向上は最も重要と考え、後期4年間で地域経営に関する取り組みを位置づけるよう考えている。



行政の各部ごとの都合で使われている“地域”の考えは整理すべき課題